

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
工場長 (産業廃棄物統括責任者)		
└─ 環境健康安全担当部長 (産業廃棄物管理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者)		
└─ 環境健康安全担当		
└─ 各部門産業廃棄物担当者		
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①□現状	【前年度 (平成 23年度) 実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り
	排 出 量	別紙の通り t
	(これまでに実施した取組) ・当工場より発生する特別管理産業廃棄物量はエポキシ樹脂を製造する際に発生するものであり、エポキシ樹脂製造量に比例しておりその削減は大変困難であるが、毎年目標を設定し削減に取り組んできた。	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り
	排 出 量	別紙の通り t
	(今後実施する予定の取組) ・産業廃棄物を削減するため製造工程の見直しを行い、最適化を継続して進める。	
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項		
①□現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現在のところ当工場より排出する特別管理産業廃棄物では今以上の分別は困難である。	
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特にない。	

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①□現状	【前年度（平成 23年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	（これまでに実施した取組） ・再生利用が可能な中間処理業者を選定し委託している。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	（今後実施する予定の取組） ・再生利用が可能な中間処理業者を今後も選定し、再生利用率の向上に努める。		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①□現状	【前年度（平成 23年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	別紙の通り	t
（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	別紙の通り	t
（今後実施する予定の取組） ・減量、熱回収等の中間処理については、委託処理により実施していく。			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①□現状	【前年度（平成 23年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない。		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①□現状	【前年度（平成 23年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	別紙の通り	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙の通り	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙の通り	t
	(これまでに実施した取組) ・委託先処理業者には定期(基本的に年1回)の現地確認を行っている。 ・再生利用が可能な処理業者を選定し委託している。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	別紙の通り	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙の通り	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙の通り	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優良認定処理業者、再生利用が可能な処理業者、認定熱回収業者を積極的に選定する。 ・委託先処理業者には継続して定期(基本的に年1回)の現地確認を実施する。 		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

項目	特別管理産業廃棄物の種類			
		引火性廃油	腐食性廃酸	
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	①現状	排出量	48.763	4.03
	②計画【目標】	排出量	48.0	4.0
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項	①現状	再生利用量	0	0
	②計画【目標】	再生利用量	0	0
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項	①現状	熱回収処理量	0	0
		中間処理量	0	0
	②計画【目標】	熱回収処理量	0	0
		中間処理量	0	0
自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項	①現状	埋立処分量	0	0
	②計画【目標】	埋立処分量	0	0
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項	①現状	全処理委託量	48.763	4.03
		優良業者委託量	0	0
		再生利用業者委託量	35.358	0
		認定熱回収業者委託量	13.405	4.03
		認定以外熱回収業者委託量	0	0
	②計画【目標】	全処理委託量	48.0	4.0
		優良業者委託量	35.0	0
		再生利用業者委託量	35.0	0
		認定熱回収業者委託量	13.0	4.0
		認定以外熱回収業者委託量	0	0

※現状：【前年度(平成23年度)実績】

(単位:t)